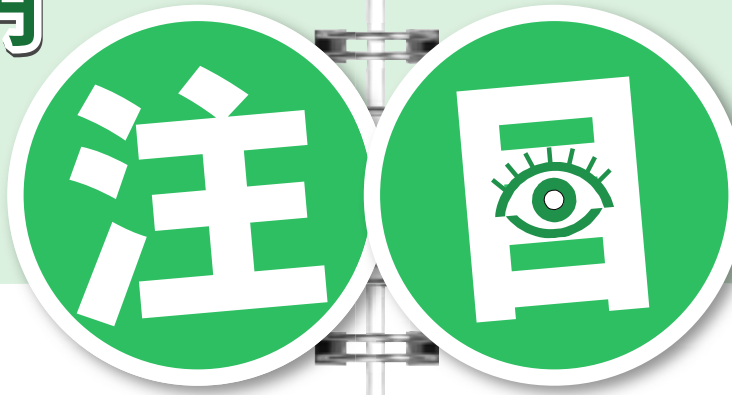


平成 24 年度
予算総額 551 億 4,176 万円

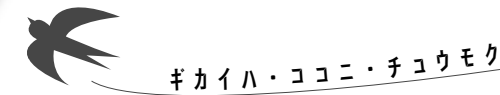
一般会計 355 億 4,800 万円 特別会計 195 億 9,376 万円

新規事業に



平成 24 年第 1 回定例会が 3 月 6 日から 22 日までの 17 日間の会期で開かれました。

24 年度には、52 の新規事業が計画されており、それらを慎重に審議しました。議会が注目した新規事業をお知らせいたします。



■平成 24 年度の全会計当初予算額

一般会計	355 億 4,800 万円
国民健康保険	86 億 2,207 万円
後期高齢者医療	6 億 4,698 万円
介護保険事業	67 億 4,920 万円
公共下水道事業	33 億 1,903 万円
土地取得	1 億 7,303 万円
企業団地造成事業	87 万円
温泉保養センター	8,258 万円
合計	195 億 9,376 万円
合計	551 億 4,176 万円

新 新しい活力を

産地産業グローバル展開支援事業 **879 万 7 千円**

中小企業者の海外展開希望の支援事業
 ・中小企業新市場調査研究会の設置
 ・海外で開催される展示会への参加
 ・加工技術の進歩に関する国際会議の開催

環境保全型農業直接支援対策事業 **610 万円**

県エコファーマーの認証を受けた農業者の「環境保全型農業」の取り組みへの助成です。

新 子どもたちを育む

(仮称) 燕市西部学校給食センター **5,183 万 7 千円**

老朽化した吉田・分水地区給食センターを統合し、最新の衛生基準に適合した給食センターの基本設計・実施設計を行います。

吉田統合保育園建設事業 **2 億 7,186 万 1 千円**

吉田中央保育園と吉田神田保育園を統合し、新たに認可保育園を平成 26 年 4 月に開園するための用地を取得します。

新 生きがいと優しさ

在宅介護保険サービス利用負担軽減事業 **972 万円**

生活困窮者が在宅で自立した生活を営めるよう、サービス利用料を一部軽減します。

障がい者相談支援体制の強化 **875 万円**

それぞれの障がい者のより詳細な生活環境を踏まえたケアプランの作成・サービス利用後のモニタリングなどを実施します。

新 住みやすいまち

ESCO事業 文化センターの空調設備や照明器具など **6 万 8 千円**

民間業者が国の補助を受けて整備する事業で、行政の改修負担がなく、将来のランニングコストを削減する事業です。

公共交通社会実験事業（交通計画策定事業） **800 万円**

巡回バスや循環バスについて、市民がより利用しやすいものにするために、デマンド交通システムづくりに向けて実験運行を行います。

新 にぎわいを創る

大河津さくら公園ビジターハウス整備事業 **6,228 万円**

大河津さくら公園に情報発信機能を持たせた観光客及び公園利用者の憩いの場として、トイレ・休憩所を備えた施設を建設します。

吉田南小学校跡地整備事業 **1 億 500 万円**

吉田南小学校跡地の民間売却・住宅団地造成に向けて、外周水路の改修と地下式貯水槽の築造工事を行います。

新 市民とともに

窓口業務人材派遣委託事業 **920 万円**

証明発行等の窓口業務について、人材派遣等のアウトソーシングを行います。

市税等コンビニ収納導入事業 **48 万 2 千円**

軽自動車税から先行導入します。

会議録調製・検索システム事業 **725 万 2 千円**

早期な会議録の作成と市民への情報提供・公開が充実します。

平成 24 年度予算編成の 6 つの柱

- 1 新しい活力を想像するまち
- 2 未来の燕を担う子どもたちを育むまち
- 3 生きがいと優しさを実感できるまち
- 4 快適で住みやすく、愛着を感じるまち
- 5 利便性が高く、にぎわいを創るまち
- 6 市民とともに築くまち



生きがいと優しさ 在宅介護



住みやすいまち 巡回・循環バス



市民とともに 市民課の窓口



新しい活力を 海外見本市



子どもたちを育む 吉田給食センター



にぎわいを創る 分水おいらん道中

